

授業科目

解剖生理学II

担当教員名 澁谷 顕一	対象学年	1	対象学科	健栄
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	○	○

授業の概要

解剖生理学IIでは、解剖生理学Iに引き続いて、身体の構造と機能についての基本的な知識を学習する。栄養生理的な面だけでなく、ヒトの動物的機能、つまり、ヒトが動くことができるしくみや脳における認知機能についても学習する。

授業の目的

人体の仕組み(形態と構造)を理解し、人体を構成する器官や器官系が生命・健康の維持とどのように関わっているかを理解することを目的とする。

学習目標

1) 泌尿器系の構造・働きと仕組み、2) 生殖器系の構造・働きと仕組み、3) 神経・感覚系の構造・働きと仕組み、4) ならびに内分泌系の構造・働きと仕組みを理解して説明できるようになる。特に、恒常性の概念と仕組みについて理解する。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	血液の成分、血球の機能	講義	澁谷 顕一
2	心臓の構造、心拍出量、心臓に出入りする主要な血管、体循環・肺循環、胎児の循環、心臓に分布する血管	講義	澁谷 顕一
3	刺激伝導系、心電図	講義	澁谷 顕一
4	主要な動脈、血管の種類、血管の形態	講義	澁谷 顕一
5	平滑筋と血圧の関係、血圧調節の仕組み、血圧に影響を及ぼす因子	講義	澁谷 顕一
6	泌尿器系の概要、腎臓の働き	講義	澁谷 顕一
7	腎臓の微細構造、腎小体における原尿の生成	講義	澁谷 顕一
8	尿細管における再吸収、血液量と組成の調節（バソプレシン、レニン-アンギオテンシン-アルドステロン）	講義	澁谷 顕一
9	染色体、体細胞と生殖細胞、精巣と精子	講義	澁谷 顕一
10	卵巣における排卵、受精卵の誕生と着床	講義	澁谷 顕一
11	性周期とホルモン、子宮内膜の増殖と分泌、胎盤、乳腺	講義	澁谷 顕一
12	神経系の概要、ニューロンの構造、中枢神経系(大脳皮質)	講義	澁谷 顕一
13	中枢神経系(間脳、脳幹の機能)、末梢神経系(脳神経、脊髄神経、自律神経)	講義	澁谷 顕一
14	末梢神経系(脳神経、脊髄神経、自律神経)、感覚器系の概要	講義	澁谷 顕一
15	視覚、聴覚、嗅覚、味覚、体性感覚	講義	澁谷 顕一

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	人体の構造と機能 ナーシング・グラフィカ1 解剖生理学		メディカ出版		4,800円	
参考書						
その他の資料						

評価方法

期末試験

履修上の留意点

高校時代に“化学” “生物”を履修していない学生、または、理解が不十分な学生は補習によって“化学”や“生物”を学習して学力を補強しながら授業に臨むこと。

オフィスアワー・連絡先

研究室：G302b。

質問等は随時受け付けます。出張等で不在のこともありますので、できればあらかじめメール（shibuya@nuhw.ac.jp）でアポイントメントを取ってください。